



Since 1973

No. 154

エヴァンゲリウム・カントライ

2024年
3月

Evangeliums Kantrei

『時が良くても悪くても』

森下信義



「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」（Ⅱテモテ4：2）

2024年の晴れやかな年明け早々に能登半島地震が発生し、一気に緊急事態モードになりました。私たちの生活はいついかなる時であっても何が起こるか分からない、ということを経験しました。

そのような中で、私はエヴァンゲリウム・カントライ創立50周年記念賛美動画を視聴させていただきました。これまでもコロナ禍を機に開かれたオンラインコンサートにも参加する幸いな機会がありましたが、この度の記念賛美動画は特に感慨深いものとなりました。

「アダムの堕落が 人の本質を損い・・・」
「求めよ神の国とその義」「神は実にその一人子を」「血潮したたる」「主はよみがえりぬ」
「来たれ聖霊」「主の御名をほめたたえよ」と
壮大な聖書の真理を、みことばに基づき、簡潔に歌い上げる一つ一つの賛美に慰めを得ました。

アダムの堕落から始まったこの世界の悲惨も、神の御子キリストの十字架の死と復活によって回復させられ、偉大な神が礼拝されるという、福音の宣言に感動したからです。人の憂いや希望を超えた福音の世界に、改めて信仰の目が開かれるという信仰の体験でした。まさにエヴァンゲリウム・カントライ（福音聖歌隊）の働きが用いられているという事実をここに証したいと思います。

教会も個人としてもこの数年の間にも多くの試練の中を通過してまいりました。その中でも教会は「時」の良し悪しにかかわらず、様々な方法を用いてみことばを語り続けてきました。オンラインのコンサートはその恩恵でもありました。それは、カントライが冒頭のみことばに応答し、活動を継続してこられたからであると確信しています。

この数年、急速な時代や環境の変化によってその方法論がしきりに問われました。しかし、これからはいよいよその中身が問われ、ふるわれていくのではないかと思われています。冒頭のみことばには続きがあります。「というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、真理から耳を背け、作り話にそれて行くような時代になるからです。けれども、あなたはどんな場合にも慎んで、苦難に耐え、伝道者の働きをなし、自分の務めを十分に果たしなさい。」

50周年という「主の恵みの年」に祝福がありますように！

(JECA筑西キリスト教会 牧師)



プレカントライへのお誘い

神を畏れる人はすべてここに来て、聞け。
神が成し遂げてくださったことを語ろう。
私の口は神に呼びかけ
舌をもって崇めます。

詩篇66:16~17

エヴァンゲリウム・カントライは主の御導きにより、昨年50周年を迎えることができました。創立者の岳藤豪希先生が体調を崩され急遽、臨時に指揮を代行させて頂いたのが2005年の事でした。聖歌隊では指揮をすることはあっても、入団以来、歌うこと専門でしたので、右も左も分からず、手探りのまま大きな責任を継がせて頂きました。気づけば18年と3ヶ月が過ぎました。アンサンブルの経験もカントライで基礎から教えていただき、はじめは戸惑いばかりで小さくなって参加していたのを思い出します。カントライの目的が〈主の福音の述べ伝え〉でなかったら、途中であきらめていたかもしれません。それでも数々の難関を越えさせてくださったのは、主の憐れみと使命、更に岳藤先生の忍耐と信じております。

前置きが長くなりましたが、誰でも最初は初心者だということです。そこで、カントライは、かつて不定期に開催していたプレカントライの集いを、定期的に継続していこうと計画しています。福音の賛美を初歩から体験したい、学びたいという方々、教会音楽を賛美したくても教会に聖歌隊がないという方々、聖歌隊のために指揮を学びたいという方々、カントライには参加したいが、毎週は無理だし遠い、という方々のために、現在祈りつつ備えております。詳細は決まり次第、ホームページでご案内する予定です。

聖歌隊といっても、教会ごとに状態はまちまちで、しかも訓練、練習といっても、どこから手を付けていいかわからない、と思われるのが普通ではないでしょうか。指揮をしたり指導する人もいない、という教会も沢山あります。私の教会も6、7名から始まり、高齢者が引退して減り続けています。そういう時は指揮は必要ありません。私も一緒に歌っています。奉仕は可能です。小さいグループでアンサンブルをするのも、大きなグループでアンサンブルするのも、基本は同じです。もちろん人数が多ければ、より多くの声部で演奏できますから、バリエーションは豊かです。しかし、それでも基本は同じだと思っています。

礼拝音楽の基本は、ユニゾン（斉唱）とカノン（輪唱）だと思います。これをいつも欠かさずすることをプレカントライの練習でも取り入れていきたいと思っています。ユニゾンは聖書を朗読することと密接してします。カノンは多声音楽の入口であり、和声音楽への基礎でもあります。賛美歌を四声で歌うには4つのパートが揃う必要がありますが、ユニゾンとカノンにはメンバーの人数や声種に制限はありません。なにより聖書を覚えることができ、朗読も上達します。カノンに慣れると、アンサンブルの感覚が一気に上達します。ハーモニーの作品も不思議とできるようになります。プレカントライで学んだことはすぐ、聖歌隊の奉仕に使えます。また、様々な教会の兄弟姉妹と賛美を共にする楽しい時間となることでしょう。

この計画が御心にならって実現できますようにと、カントライ一同祈りつつ備えております。

(指揮者 齊藤律子)

2023 クリスマスオンラインコンサート報告

12/15(金)
初！生LIVE



カントライ初の生ライブコンサートをご視聴くださった多くの皆様に感謝します。少々アクシデントもありましたが、各地からご視聴、ご感想もありがとうございました。(同時視聴数は100を超えていました)ご感想の一部を紹介させていただきます。

- ・静まってゆっくりクリスマスを味わうことができました。
- ・繰り返し聴いてしまいました!(しばらく視聴可能だった為)
- ・カントライのみことばに立った働きを改めて知ることができました。
- ・オルガンの賛美も良かった。特に後奏。

創立50周年記念動画メイキング映像

2024年3月中
配信スタート



メイキング映像を大放送?!いたします。
いつものカントライ団員、指揮者の素顔、指揮の様子が堪能できるかもしれません。
編集の奉仕にご協力くださった皆様にも感謝いたします。
引き続き「正式」動画もご視聴いただけます。

Information !

プレカントライ in千葉

- ◎日時 : 2024年4月～毎月第四土曜日(8月、12月は休)
- ◎会場 : 保守バプテスト津田沼教会
- ◎主な練習内容 : 簡単なカノン、みことばの歌など

今回のプレカントライは、聖歌隊の学びと実践を内容、期間共にゆとりをもって行います。詳しくは、ホームページ、案内文書をご参照ください。
神奈川でも6月から平日夜の開講を予定しています。後日、近隣の皆様にご案内します。ご参加をお待ちしています！

2024-2025年 活動予定

- 2024年 4月27日(土) プレカントライ千葉スタート
- 5月18日(土) 佐倉福音キリスト教会コンサート
- 2025年 4月12日(土) 浜田山キリスト教会コンサート(ヨハネ受難曲)

* 今後の状況によって変更の可能性がありますので、ご確認をお願いいたします。

献金2023年12月-2024年2月

() 内の数字は件数です。

尊い献げものをありがとうございました。感謝をもってご報告いたします。(敬称略)

<賛助会> (教会) 前橋キリスト教会(3)、拝島バプテスト教会、東京聖書教会(4)
宇都宮聖書バプテスト教会、北栄キリスト教会(3)、グレースコミュニティー
浦和福音自由教会(3)、四街道教会、川越聖書教会、長津田キリスト教会

(個人) 村田志津子、潮田徹、佐藤義則、高橋和江、飯島勅・千雍子(3)、小林伸二
田中玲子、中山明美、矢吹徹、高張美恵子(3)、斉藤とし子、川瀬千嘉
大嶋清、市川和子

<献金> (教会) 九十九里教会、湘南ライフタウンキリスト教会(3)
(個人) 団員、匿名

編集後記

今年は春の訪れが早いようですが、来年度の歩みを思う時、主に期待して心が弾みます。
カントライの奉仕の上に主のご支配がありますようにお祈りを願います。(事務局)

〒251-0861 藤沢市大庭5529-8シャルマンコーポ404 小山方 Tel. 070-2834-4304
郵便振替 00100-3-21060



聖書 新改訳2017©新日本聖書刊行会、聖書協会共同訳©日本聖書協会Japan Bible Society, Tokyo 2018